

年次報告書
令和5年度の経営状況を
レポートします

いわき水みらいレポート 2024



令和6年度水道週間 絵画展 最優秀賞作品
タイトル「お水さんへ、あなたのおかげで生きられる」
平第二小学校 伊藤 凜咲さん



いわき市水道局

発行にあたって ～ 水道事業管理者メッセージ ～

いわき市水道局は、市民の皆様の暮らし、地域社会経済の振興発展に欠かせない水道を所管し、24 時間、365 日、安全安心でおいしい水道水をお届けしています。

「未来に引き継ぐいわきの水道～安全でおいしい水を必要なだけ～」を基本理念とし、「安全」「強靱」「持続」の観点のもと、更なる100年に向けて水道事業の基盤の強化に努めています。

人口減少等による水道事業の収入減少や担い手の減少は、水道事業を取り巻く大きな課題です。いわき創生総合戦略における人口ビジョンによると、これからの約40年間でいわき市の総人口は30%以上減少すると推計されています。単純に捉えれば、水道事業の収入、水道事業の担い手が30%以上減少することになると言えます。

では、水需要の減少とともに維持管理にかかる費用と労力が30%以上減るかと言えば、そうではありません。極端に言えば、管路の末端にあたる地域におひとりでも利用者がいれば、ダウンサイジング等を行いながらも、水を送り届けるため、管路を維持・更新する必要があります。

水道事業は、市民の皆様の暮らしを支える重要な使命を有する一方、巨大なシステムを維持し、事業を実施する中、人口減少という社会変化に対応しながら、改善を進めていくことがより重要となっています。

本市の水道事業は100年が経過し、管路や施設の老朽化が深刻な課題となっています。災害対策についても、待ったなしで取り組みを進めていかなければなりません。

全国各地の自治体も同様であり、厳しい経営状況となっています。本市においても、人口の減少、老朽施設の更新や耐震化等の災害対策などにより、今後50年間の経営収支見通しは大変厳しい状況にあります。

このため、水道局では、施設・管路の縮小・廃止などの最適化のほか、コストの削減、サービス向上に向けた業務改善、DXなどの経営の効率化に、全力を挙げて取り組んでいます。

一方、これまで経験したことのない、この大きな変化に適切に対応するためには、新たな視点による対策が必要となってくるものと考えています。

持続可能な、安全で安心な水道水を、いつでも飲める、利用できる環境を維持していくためには、水道局、事業者、そして市民の皆様が、同じ方向を目指し、力を合わせながら取り組むことが極めて重要になります。

市民の皆様には、まずは、水道事業にこれまで以上に関心をお持ちいただく。そして、企業で言えば株主として、事業経営と一緒に考えていただき、共に創り上げていくことが重要ではないか、今、このことを強く考えています。

今般、水道事業の概略的な報告書、本市の水道事業のレベルをまとめた「いわき水みらいレポート」を発行することとしました。市民の皆様には、このレポートをご覧ください、水道事業の進捗状況や直面している課題など、いわき市の水道事業の“現実”についてご理解いただき、共有していただければと考えています。そして、水道事業に対する、ご意見、ご提案などをお寄せいただければと思います。

市民の皆様と共創、協働しながら、水道事業の社会価値を高める経営に取り組み、いわき市水道事業の次の100年に向けた持続的な事業経営を実現していきます。

令和6年11月

いわき市水道事業管理者 山田 誠

目 次

序章 いわき市の水道事業

- 1 水道事業の仕組み 1
- 2 いわき市の水道
 - 水道の全体像（将来） 3
 - 施設・管路の状況 3

第1章 業務状況

- 1 給水人口と給水戸数 4
- 2 配水量・有収水量・有収率・給水収益 4
- 3 令和5年度決算（令和5年度における“経営の成績”）
 - 決算の状況（全体） 5
 - 収益的収支と当年度純利益 6
 - 資本的収支と収支不足額、資金残高 6

第2章 施策・事業の進捗状況

- 1 基本理念及び災害対策・施設等老朽化対策の進捗状況 7
 - 《特集1 災害への備えはどうなっているの?》 8
- 2 経営効率化の取組状況 11
 - 《特集2 いわき市の水道施設は適切な規模なの?》 12

第3章 数字で見る水道経営の姿（経営指標の状況）

- 1 経営に関する項目
 - 収益性（収支の状況） 水道事業の経営活動の成否 . . . 13
 - 財務比率 水道事業の財務の健全性 13
- 2 経営資産に関する項目
 - 施設の効率性（稼働状況） 施設の適正規模 15
 - 生産性（職員数と事業の状況との関係） 15

序章 いわき市の水道事業

1 水道事業の仕組み

どうして 水道料金 が必要なの？



つるさん

公共の福祉と経済性の両立が必要
独立採算制が原則

このため

事業経営に必要な費用を
水道料金収入
で、まかっています。

市民のみなさまからいただいた水道料金は、
「水をつくる」「水を届ける」ために使用しています。

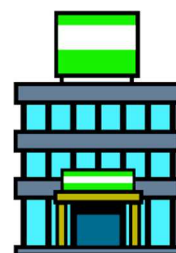
市民のみなさま



水道料金をお支払いいただきます。

安全でおいしい水道水をお届けします。

水道局



施設や水道管の整備（建設改良工事）を
行うために **お金** を **借ります**。

国・
金融機関



健全な経営に努め、
借りた **お金** を **返します**。

水をつくる

浄水処理

河川水や地下水を
原水として良質な
水道水をつくります。



水質検査

水道水の安全性を
チェックします。



水を
届ける

水道管の工事



送水管・配水管の布設や
維持管理を行い、大切な
ライフラインを守ります。

まとめと



かっぱさん

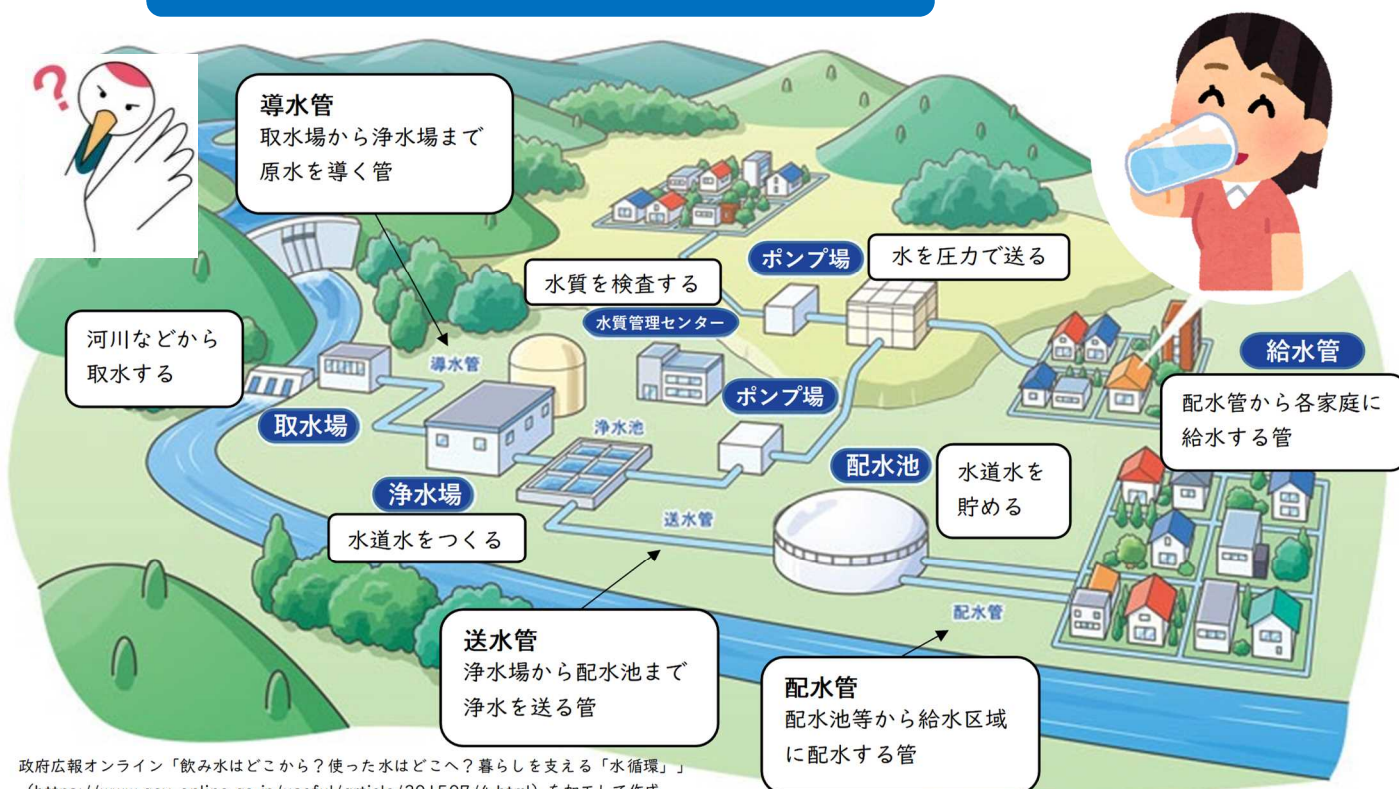
いつでも安心して使用いただける水を、
効率的な経営のもと適正な料金で安定して提供することが、
水道事業者の使命です。

水道事業	清浄	安全で 安心な水	
	豊富	24時間 365日	
	低廉	適正な 水道料金	



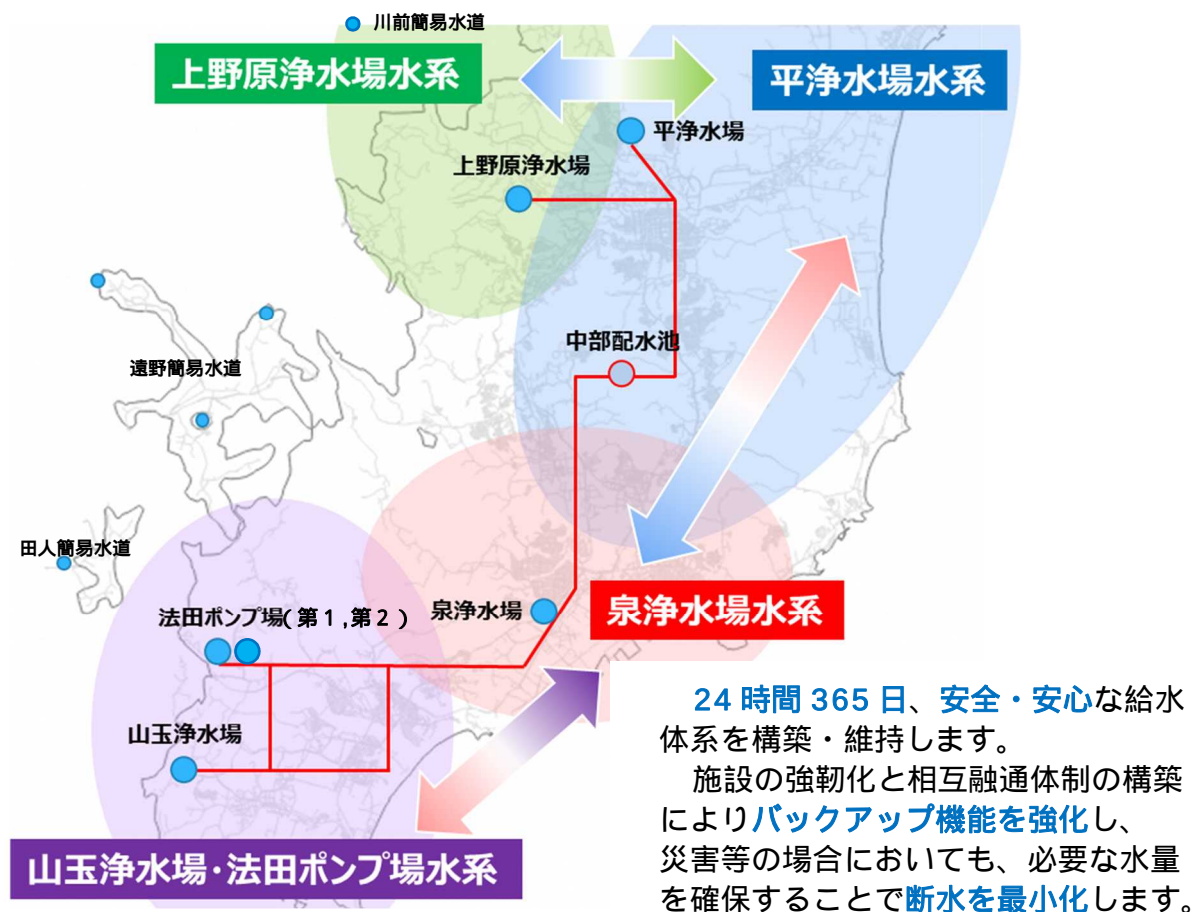
そして、これからも市民のみなさまとともに
水道事業を守り育み、**未来へつないでいきます。**

どうやって 蛇口から 水が出てくるの？



政府広報オンライン「飲み水はどこから？使った水はどこへ？暮らしを支える「水循環」」
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201507/4.html>) を加工して作成

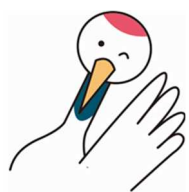
2 いわき市の水道 水道の全体像（将来）



施設・管路の状況

区 分	いわき市	県内他市			類似団体 平均
		福島市	郡山市	会津若松市	
給水区域面積(km ²)	466.03	273.40	293.28	137.11	-
浄水場(施設)	11	2	4	4	8
配水池(施設)	135	35	25	23	56
導送配水管延長(km)	2,283.54	1,648.56	1,825.01	818.40	2,012.07
うち導水管延長	10.90	4.34	13.02	4.68	-
うち送水管延長	23.10	60.41	9.43	4.98	-
うち配水管延長	2,249.54	1,583.81	1,802.56	808.74	-

本市は令和5年度末現在の数値、県内他市及び類似団体は令和4年度末の数値。
類似団体とは、現在給水人口が30万人以上の末端給水事業の40事業体。
(県、政令指定都市、企業団及びいわき市を除く。)



いわき市は、
他市と比べて
給水区域面積が
広いため、
**施設数も多く、
管路延長も長い**
んだ。

施設や管路は、長期にわたって使用
するために**適切な維持・管理**を行う
必要があるんだ。

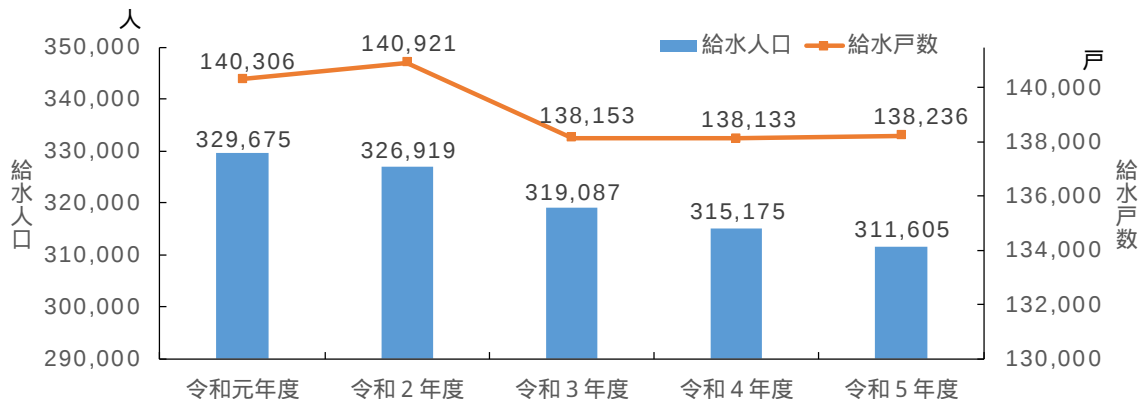
老朽化が進んだ施設や管路は、
**大規模災害に備えて、更新するなど、
強靱化を図ることも大事だよ。**



第1章 業務状況

1 給水人口と給水戸数

〔給水人口・給水戸数〕給水区域内に居住し、上水道・簡易水道より給水を受けている人口と世帯数



令和5年度末の給水人口は 311,605 人で、前年度と比較して 3,570 人（1.1%）減少しました。
また、給水戸数は 138,236 戸で、103 戸（0.1%）増加しました。

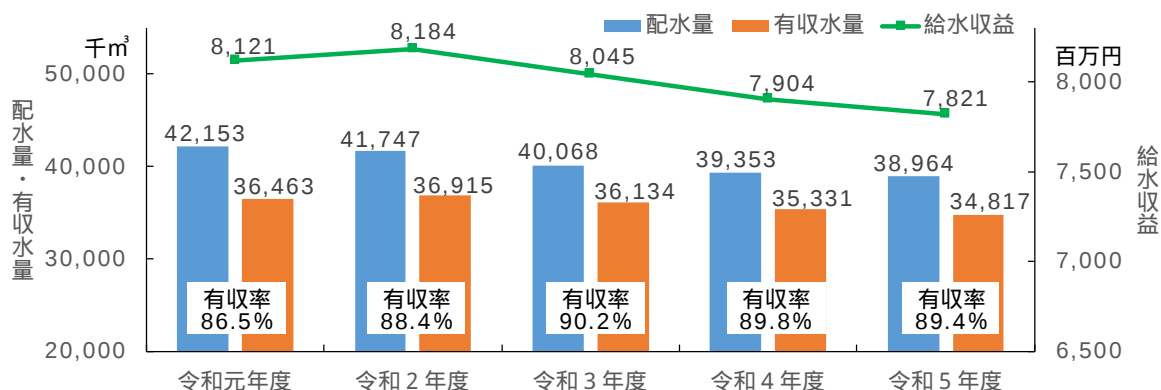
2 配水量・有収水量・有収率・給水収益

〔配水量〕配水池等から配水管に送り出した水量

〔有収水量〕皆様へお届けした水量のうち、料金収入の対象となった水量

〔有収率〕送り出した水が、どの程度料金収入に反映しているかを示すもの（有収水量÷配水量）

〔給水収益〕皆様から使用水量に応じてお支払いいただいた水道料金の収入



令和5年度は、前年度と比較していずれも減少しました。

・配水量 38,964 千 m^3 （前年度比較 389 千 m^3 （1.0%））

・有収水量 34,817 千 m^3 （前年度比較 514 千 m^3 （1.5%））

・給水収益 7,821 百万円（前年度比較 83 百万円（1.1%））

全体の傾向として、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い生活用水の使用水量が増えたことなどにより増加したものの、それ以降は年々減少しています。



給水人口は年々減少しているよ。

また、給水人口の減少に伴って有収水量が減少し、給水収益も減少しているよ。

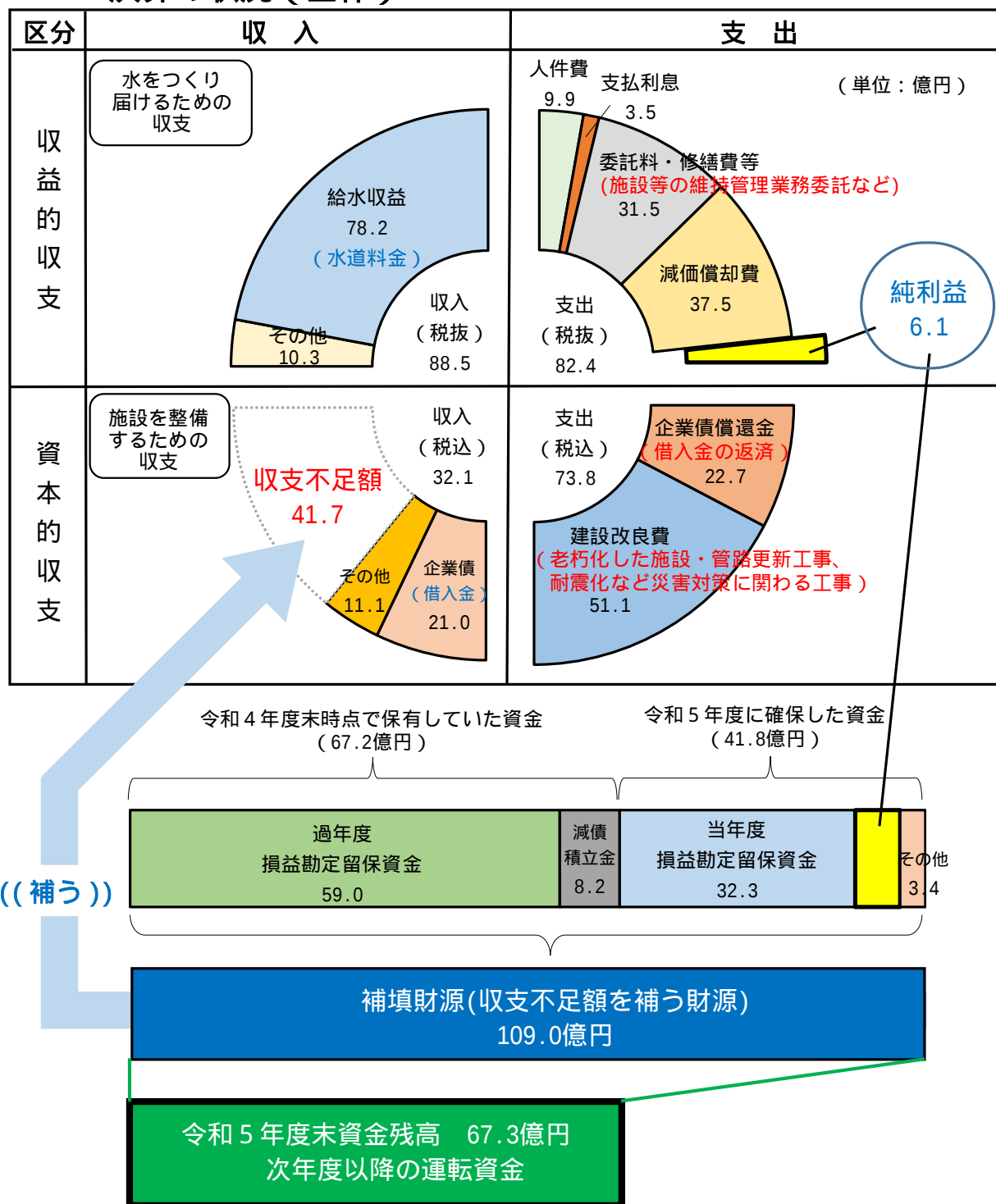
給水人口の減少は、今後も続くことが推測されるね。

また、有収率は概ね90%で横ばいだけど、配水量と有収水量に差、つまり、漏水が発生していることを表しているんだ。

今後は、老朽化した管路を更新することで漏水を防止することも課題だね。



3 令和5年度決算（令和5年度における“経営の成績”） 決算の状況（全体）



水道事業会計は、水をつくり届けるための「収益的収支」と、施設を整備するための「資本的収支」で構成されています。

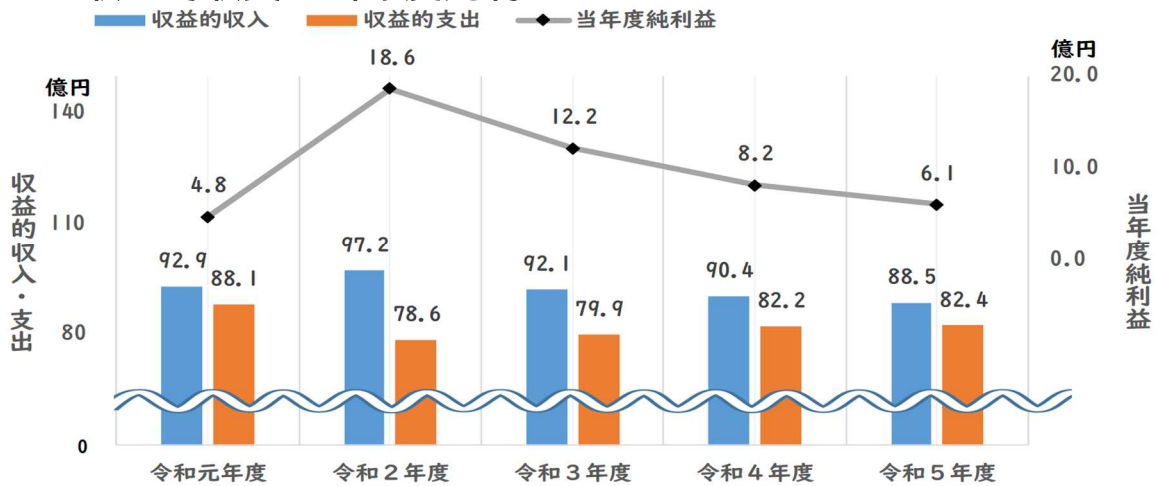
令和5年度は、**収益的収支**において、収入が88.5億円、支出が82.4億円となり、差し引き**6.1億円の純利益（黒字）**となりました。

また、**資本的収支**において、支出が73.8億円、収入が32.1億円となり、差し引き**41.7億円の収支不足**となりました。

資金不足を補った結果、令和5年度末の資金残高（次年度以降の運転資金）は、67.3億円となりました。

令和5年度は、「純利益」と「資金残高」をみるとほぼ**前年度並みの経営の成績**でしたが、長期で見ると**減少傾向**であり、**今後より厳しい状況**が予測されます。

収益的収支と当年度純利益



収益的収入 88.5 億円

前年度と比較して 1.9 億円 (2.1%) 減少

ポイント

給水人口の減等に伴い、収入の根幹となる給水収益が減少しました。

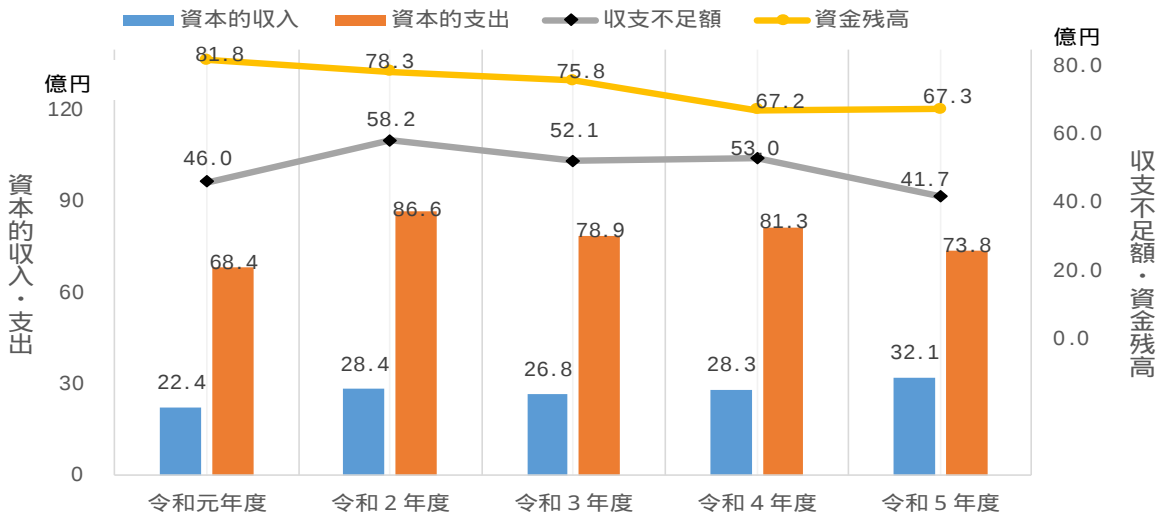
収益的支出 82.4 億円

前年度と比較して 0.2 億円 (0.2%) 増加

ポイント

労務単価の増に伴い委託料が増加したほか、電気料金の高騰に伴い動力費が増加しました。

資本的収支と収支不足額、資金残高



支出のポイント

非常時におけるバックアップ体制構築や土砂災害対策、浸水対策のほか、老朽化した管路の更新等の費用として 51.1 億円を支出しました。また、借入金の返済に 22.7 億円支出しました。

収入のポイント

建設改良費の財源として、借入金 21 億円のほか、市からの繰入金 10 億円等の収入がありました。資金残高は、前年度とほぼ同額となりました。



収益的収支
は各年度で
黒字だけど、

黒字額は年々減少

しているよ。また、
運転資金となる

資金残高も年々減少

しているよ。

黒字額が減少しているのは、みんなが負担している**水道料金の収入である給水収益の減少**や、**電気料金など施設の維持管理費の増加**が要因なんだ。

資金残高は 67 億円あるけど、水道水の安定供給には、**老朽化した多くの施設・管路の更新**や、**災害対策**を進めていく必要があり、そのためには**多額の資金も必要**になるんだ。

このため、施設整備には、統廃合やダウンサイジングなど、**給水人口に見合った見直しが必要**だよ。加えて、**経営の効率化を図ることが必要**だよ。

施設整備により資金不足が見込まれるときは、**収入と支出のバランス**をとるため、**料金の見直しを検討する必要**もあるね。



第2章 施策・事業の進捗状況

1 基本理念及び災害対策・施設等老朽化対策の進捗状況

基本理念「未来に引き継ぐいわきの水道」

～ 安全でおいしい水を必要なだけ ～

区分	対策名	概要	進捗状況 (令和5年度末)	業務指標(単位: %)		
				令和5年度 実績値	令和8年度 目標値	令和13年度 目標値
災害対策	水道施設 津波・浸水対策	防護壁の設置 開口部の防水化 止水板の設置等	対象施設9施設中、 5施設が完了	津波・浸水対策実施率 55.6 令和7年度完了予定		
	水道施設 土砂災害対策	法面への落石防護網 の設置等	対象施設3施設中、 2施設が完了	土砂災害対策実施率 66.7 令和6年度完了予定		
	水道施設 停電対策	自家発電設備の整備 移動電源車の購入等	対象施設23施設中、 15施設が完了	停電対策実施率 65.2 73.9 令和13年度完了予定		
	基幹浄水場 連絡管整備	鹿島・常磐水系幹線、 中部配水池の新設	総工区11工区中、 8工区が完了	基幹浄水場連絡管整備事業の進捗率 72.7 76.9 令和10年度完了予定 浄水場水系間の連絡管等整備によるバックアップ機能の強化		
	重要給水施設 配水管整備	耐震化された配水池 から重要給水施設 までの管路耐震化	救急医療機関や人工透析 病院等が対象 対象施設65施設中、 20施設が完了(30.8%)	重要給水施設配水管路の耐震管率 (耐震管延長/対象延長) 57.6 63.8 70.1 救急医療機関等への 確実な給水の確保		
	水道施設・ 管路耐震化	耐震診断の実施、 耐震補強や更新に よる施設・管路の 耐震化	・浄水場 全11施設中、 1施設が完了(9.1%) ・配水池 全135施設中、 37施設が完了(27.4%) ・基幹管路 総延長228.2km中、 103.9kmが完了	浄水施設の耐震化率 (耐震化浄水施設能力/全浄水施設能力) 23.6 23.6 33.2		
				配水池の耐震化率 (耐震化配水池容量/全配水池容量) 57.7 47.0 56.0		
				基幹管路の耐震管率 45.5 47.5 51.1		
				・浄水場は「浄水場再整備事業」により計画的に耐震化を実施 ・施設・管路はダウンサイジングを図りながら耐震化を実施		
施設等老朽化対策	水道施設更新	老朽化した浄水施設 や配水施設、設備の 更新	令和5年度はポンプ場の ポンプ設備や配水池の 水位計等を更新	標準使用年数や延長使用年数に 基づいて更新を実施		
	老朽管更新	老朽化した管路の 更新 (年間更新率の目標 は総延長の1%)	令和5年度は15.5km、 0.68%(令和4年度の 全国平均は0.67%)			



もうすぐ
終わるよ♪



非常時も
安心だね♪



安定的に水が
供給されるね♪

《 特集 1 災害への備えはどうなっているの？ 》

災害発生・・・ いわき市の水道はどうなった？

東日本大震災と令和元年東日本台風で経験した断水の状況です。

多くの方が飲み水に困ることになり、水道局では、全国の都市などの応援を受けながら、応急給水や水道管の復旧を行いました。

東日本大震災

施設・管路が破損 機能停止
約 13 万戸（市内ほぼ全域）断水
断水解消までに約 40 日



【東日本大震災】昼夜問わず断水解消に従事

令和元年東日本台風

平浄水場が浸水 機能停止
約 4 万 5 千戸（市内の 3 分の 1）断水
断水解消までに 15 日



【令和元年東日本台風】夏井川の決壊などで平浄水場が浸水

災害に強い水道へ

津波や大雨による浸水被害が発生しても水道水を安定供給するため
施設に擁壁等を設置する工事を進めています。

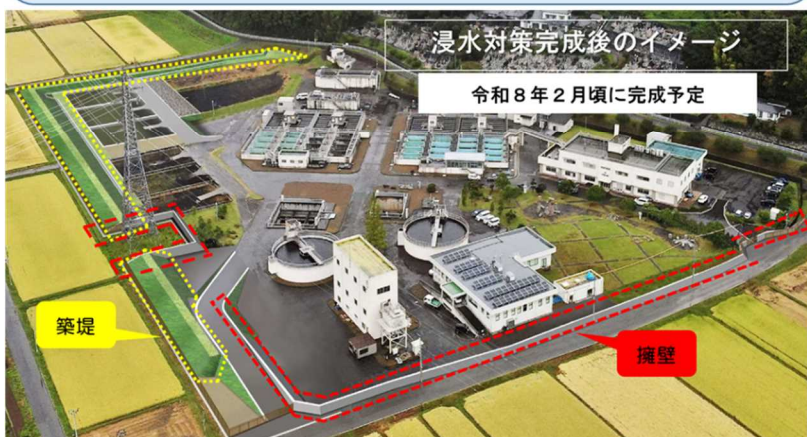


平浄水場の浸水対策



対策スケジュール

令和元年度 暫定対策として、大型土のうを設置
令和2～4年度 恒久対策の基本・詳細設計、関係機関協議、用地取得
令和5～7年度 擁壁・築堤で浄水場の外周を囲む工事を実施
（総事業費 約5億7千万円（予定））



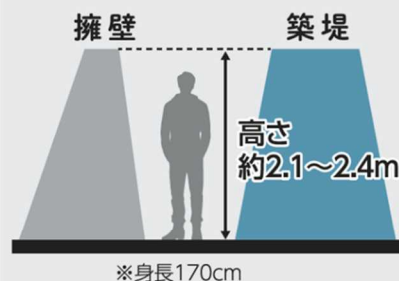
浸水対策完成後のイメージ

令和8年2月頃に完成予定

築堤

擁壁

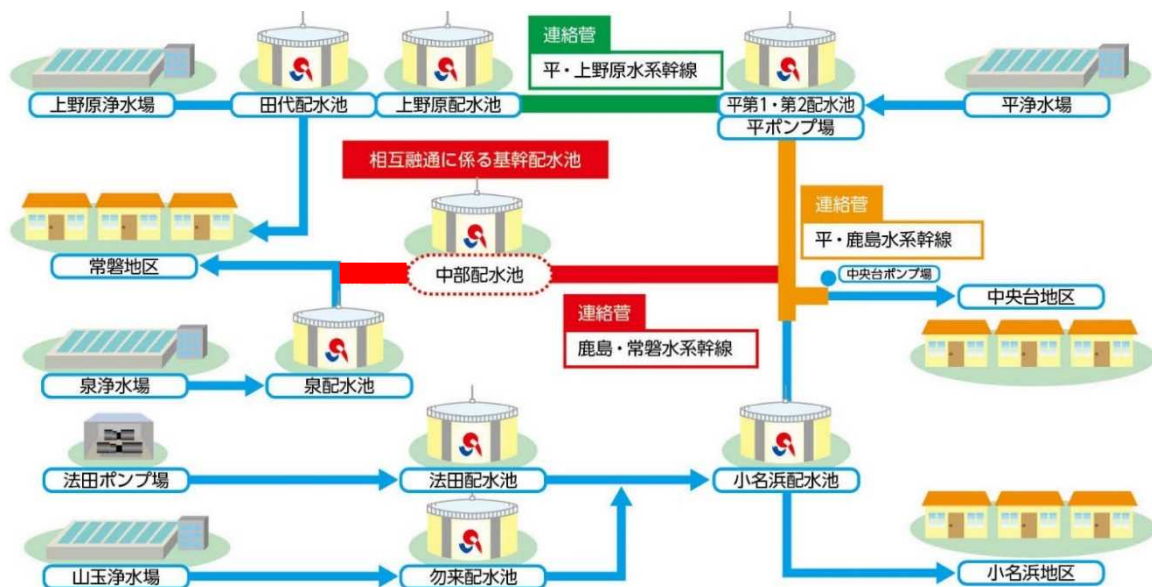
擁壁と築堤で浄水場を守ります



浸水深2mにも耐えられるよう、高さ約2.1～2.4mの擁壁（コンクリート壁など）と築堤（盛土）を浄水場の外周に設置し、浸水を防ぎます。

災害に強い水道へ（つづき）

大きな**災害が発生**しても**広域断水**しないように
各浄水場の間をつなぐ工事を進め、**バックアップ機能**を強化しています。
(計画期間：平成 15 年度から令和 10 年度まで(26 力年)、総事業費：約 178 億 7 千万円(予定))



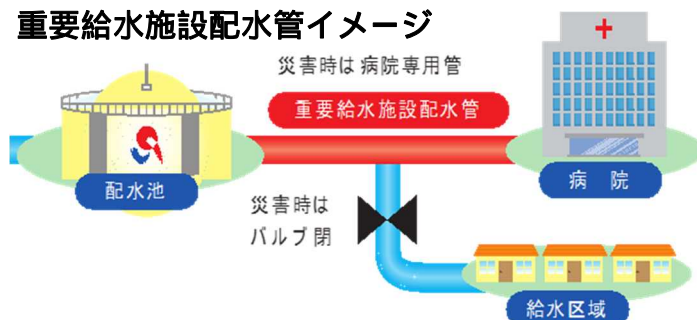
平浄水場が被災して広域で断水した時も、
上野原浄水場からのバックアップで平地区の断水区域が縮小されたよ。



災害等の非常時においても**確実に給水**するため、耐震化した配水池から
救急医療機関等（重要給水施設）までの管路の耐震化を進めています。

(計画期間：平成 29 年度～、対象施設数：65 施設、整備延長：38.7 km、総事業費：約 133 億 3 千万円(予定))

重要給水施設配水管イメージ



いわき市医療センター

【整備済施設（～令和 5 年度）】 20施設

救急医療機関・人工透析病院	公共施設・福祉避難所
松村総合病院	県立平支援学校
かしま病院	福島県いわき海浜自然の家
松尾病院	中央台市民サービスセンター
ニュータウン腎・内科クリニック	中央台分遣所
かもめクリニック	江名分遣所
いわき市医療センター	久之浜・大久支所
大河内記念病院	川前支所
常磐病院	川前分遣所
いわき泌尿器科	小川支所
(新) 松尾病院	いわきゆったり館



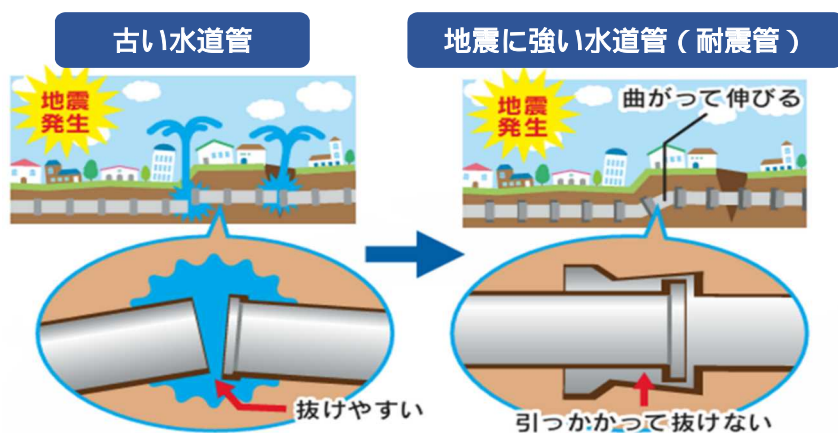
久之浜・大久支所
(地域防災交流センター
久之浜・大久ふれあい館)

古くなった水道管を**地震**が起きても**こわれにくい水道管**に取り替えています。

(事業費・管路更新率 令和4年度決算：41億6千万円、1.06%
令和5年度決算：26億6千万円、0.68%
令和6年度予算：46億3千万円、1.00%(目標値))

全国的に水道管の老朽化が問題となっていて、各地で大規模な断水が発生しています。古くなった水道管は、腐食などでこわれたり、にがり水が発生しやすくなったりするため、新しい水道管に取り替える必要があります。

いわき市の水道管はとても長く、総延長約2,284kmもあります。そのうち1%にあたる約23kmを年間目標に、古い水道管から地震に強い水道管に取り替えています。



断水や漏水を
防止するため、
計画的な更新が
必要だね。



漏水発生



老朽化により漏水した水道管

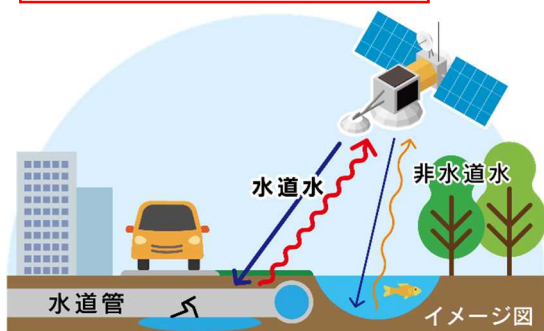


地震に強い水道管への
取替え工事

《トピックス》 衛星画像解析による漏水調査

漏水修理件数
令和3年度 252件
令和4年度 254件
令和5年度 217件

さらなる漏水箇所の早期発見に向けて
広範囲を効率的かつ効果的に調査できる
「**衛星画像解析による漏水調査**」に取り
組んでいます。



【調査概要】

衛星から地表へ電磁波を放射し画像を撮影
画像を分析して地中の水道水を検出
漏水の疑い箇所を半径100mの範囲で特定

2 経営効率化の取組状況

(単位：千円)

経営効率化の取組	主な取組内容 (令和5年度の実績)	R4効果額	R5効果額	累計
水道施設の適正化・効率化の取組、水道施設の更新需要等経費節減の取組				
水道施設のダウンサイジングの検討 水道施設長寿命化計画の推進	・水系変更等を実施した施設の廃止 (川平配水池 外1施設) ・統廃合等に伴う路線の廃止 (上野原浄水場導水管 外2路線)	1,280,365	1,542,855	2,823,220
水道施設の効率的な運用	・浄水場の効率的な水運用【浄水経費の安価な浄水場の送水量を増加】 (上野原浄水場・法田第2ポンプ場の送水量増量)	1,247	21,977	23,224
計		1,281,612	1,564,832	2,846,444
財源確保及び業務改善の取組				
財政支援等の要望と新たな財源確保の推進	・老朽管更新事業、災害対策事業に係る財源として、国庫補助・交付金を活用	67,756	53,280	121,036
業務改善の推進	・配管図の配布冊数の見直し (143冊→53冊) ・工業計器保守点検点検頻度の見直し (年1回→2年に1回)	42	39,832	39,874
ICT活用による業務の効率化の検討	・財務会計システムによる水道料金等の入金処理の自動化(RPA)	-	946	946
計		67,798	94,058	161,856
効率的な組織体制構築の取組				
職員教育の充実と求められる技術力の確保	・各種研修への派遣【オンライン研修の活用による旅費や移動時間等の削減】	146	631	777
計		146	631	777
合 計		1,349,556	1,659,521	3,009,077

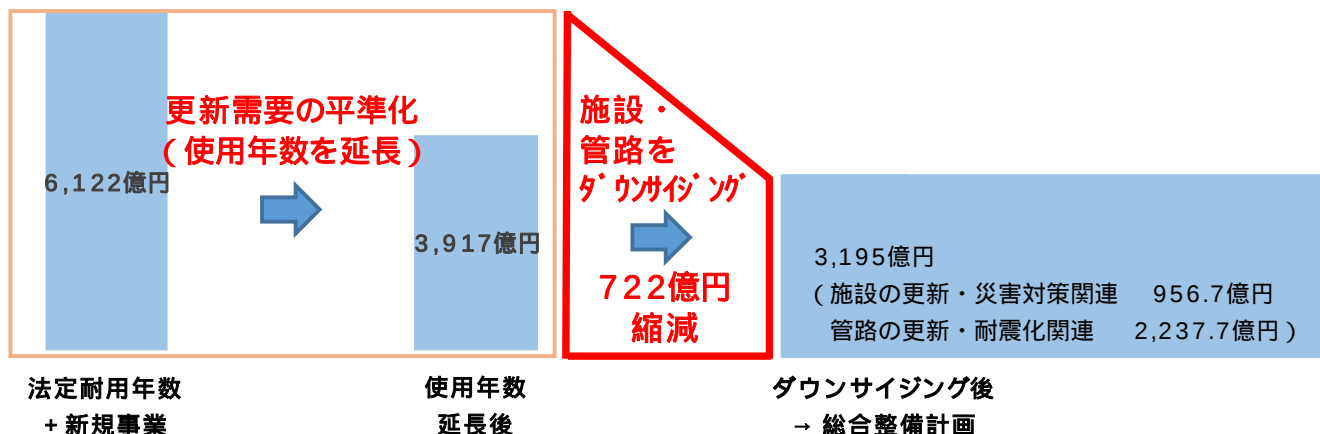


施設の管理や業務のほか、浄水場の再整備や管路の更新等における民間事業者との官民連携、コスト縮減、サービス向上に向けた業務改善、DXにも取り組んでいるよ。

《特集2 いわき市の水道施設は適切な規模なの？》 (いわき水みらいビジョン 2031 に位置付けた施設最適化の方向性)

施設や管路は、適切な維持管理を行うことで耐用年数よりも長い期間使用
人口の減少に伴う水の需要に見合った適切な規模への見直し

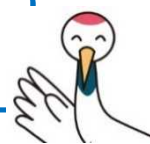
(令和4年度から令和53年度までの更新需要)



人口の減少に基づく水の需要に見合った最適規模化に向けて(水道施設総合整備計画より抜粋)

縮減内容	効果額
水道施設の統廃合による縮減額	270 億円
バックアップを考慮した施設の統廃合 (廃止施設 7施設)	32 億円
水系変更により施設の廃止 (廃止施設 25施設)	40 億円
統廃合等に伴う路線の廃止 (廃止延長 26km)	115 億円
輻輳管統合 (廃止延長 57km)	83 億円
水道施設の適正化(ダウナイズ)による縮減額	452 億円
浄水場のダウナイズ (206,250m ³ /日→116,413m ³ /日)	81 億円
配水施設のダウナイズ (66,052m ³ →42,665m ³)	57 億円
管路のダウナイズ (更新延長 502km)	314 億円
合計	722 億円

水道管を細くしたり、配水池を小さくしたりすることで費用を抑え、
50年間で722億円、1年間で約14億円の費用縮減に努めているんだね。



《トピックス》 これまでの「効率的な組織体制の構築」と 「官民連携による業務改善」

組織見直しの取組状況

年度	取組内容
H19	○5営業所の廃止
H23	○4基幹浄水場の職員配置体制の見直し
H25	○本庁技術部門の再編 ○小名浜・勿来工事事務所の統合 ○営業部門の業務委託に伴う組織見直し
R2	○総務課と経営企画課の再編 ○総務課に人材育成・防災力向上担当を新設

業務委託の取組状況

年度	取組内容
H11	○浄水場維持管理業務の民間委託 H17～ 夜間・休日業務から全日業務に拡大 H26～ 緊急時の対応業務を追加 R 5～ 修繕工事(年間500万円)を追加
H19	○水道管緊急修繕業務の民間委託
H25	○水道料金等徴収関連業務の民間委託 H28～ 給水加入金等窓口収納業務を追加 R 3～ 不良メーター取替業務を追加

第3章 数字で見る水道経営の姿（経営指標の状況）

グラフの凡例

- いわき市数値
- 類似団体(給水人口 30 万人以上)平均値
- 県内 3 市(福島市・郡山市・会津若松市)平均値

優位性について

- 数値が高い方が望ましい場合「↑」
- 数値が低い方が望ましい場合「↓」
- いずれとも示せない場合「-」

1 経営に関する項目

収益性（収支の状況）

水道事業の経営活動の成否

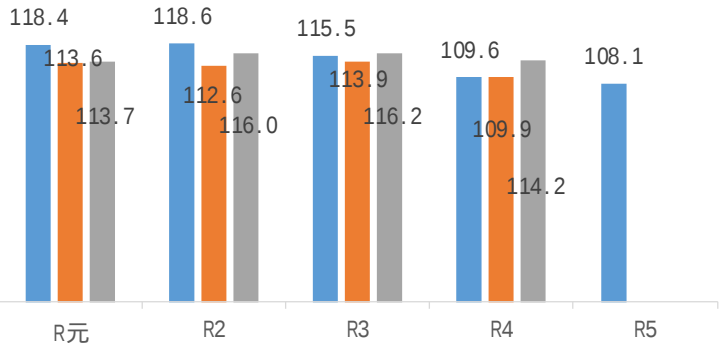
経常収支比率

【算式】 $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】

費用が収益によってどの程度まかなえているかを示しています。

比率が 100% を下回ると、経常損失（赤字）が生じていることになります。

令和 5 年度は、給水収益の減及び委託料の増等により、前年度と比較して 1.5 ポイント減少しました。



費用を収入でまかなえているね。



比率が年々減少しているのが心配だな。

財務比率

水道事業の財務の健全性

資本に関する項目

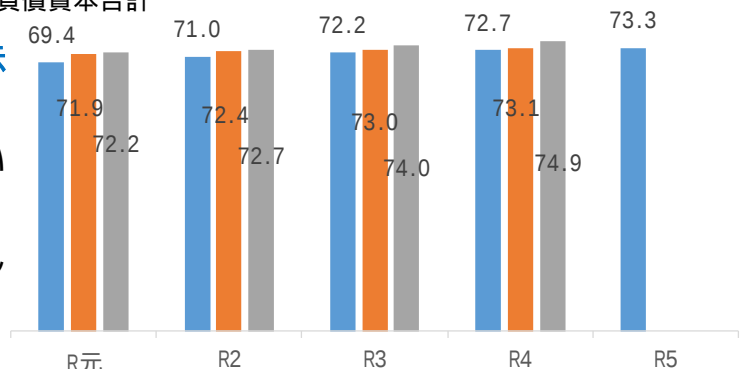
自己資本構成比率

【算式】 $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】

総資本に占める自己資本の比率を示しています。

比率が高いほど、経営は安定しています。

令和 5 年度は、0.6 ポイント増加しました。



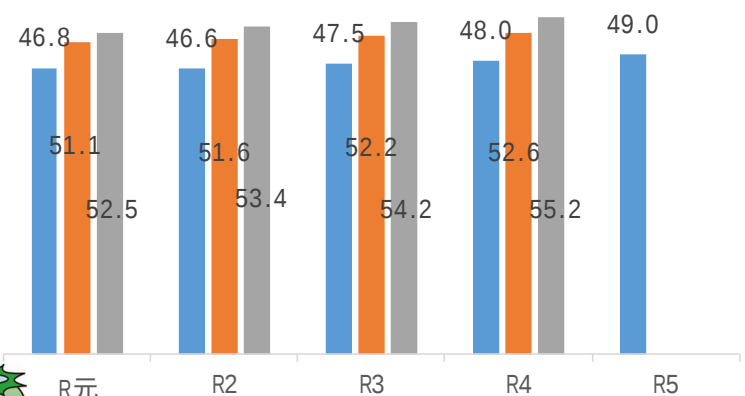
有形固定資産減価償却率

【算式】 $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却対象資産帳簿原価}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】

建物や管路などの老朽化の度合いを示しています。

比率が 100% に近いほど、資産が法定耐用年数に近づき、老朽化が進行しています。

令和 5 年度は、1.0 ポイント増加しました。



比率が増加傾向だね。

計画的な施設整備が必要だよ。



負債に関する項目

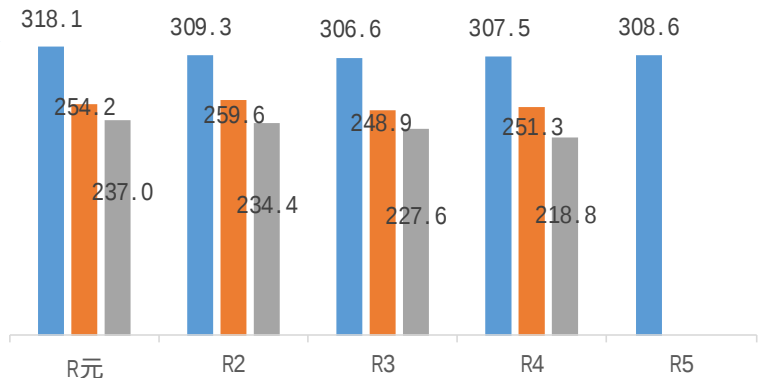
企業債残高対給水収益比率

【算式】 $\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】

給水収益に対する企業債の未償還残高（借入金の残高）の割合を示すものです。

企業債の発行額が事業規模に対して適正かをみるものであり、比率は低いほどよいです。

令和5年度は、1.1ポイント増加しました（料金収入の3倍程度となっている）。



比率が
他市より
高いね。

安定経営に向けて企業債の発行を抑える
必要があるよ。



料金に関する項目

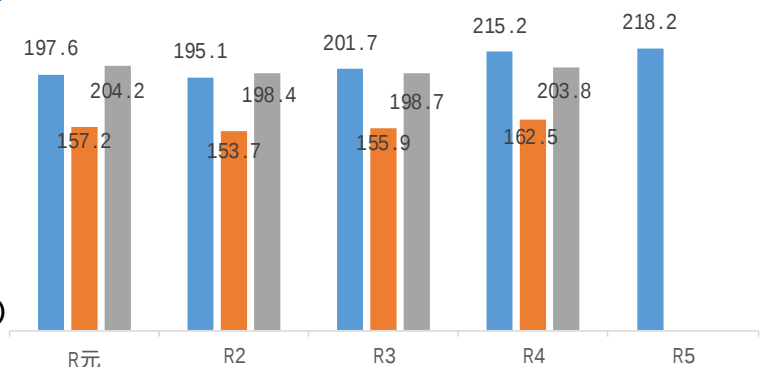
給水原価

【算式】 $\frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料売払原価} + \text{長期前受金戻入})}{\text{年間総有収水量}}$ 【単位】 円 / m³ 【優位性】

水量1 m³あたりどれだけの費用がかかっているかを示すものです。

本市は、水源を中小河川へ依存していることや広域で起伏に富む地勢から多くの水道施設を必要とするため、施設の維持管理費等給水に係る費用が多くかかっています。

令和5年度は、3.0 円 / m³ (1.4%) 増加しました。



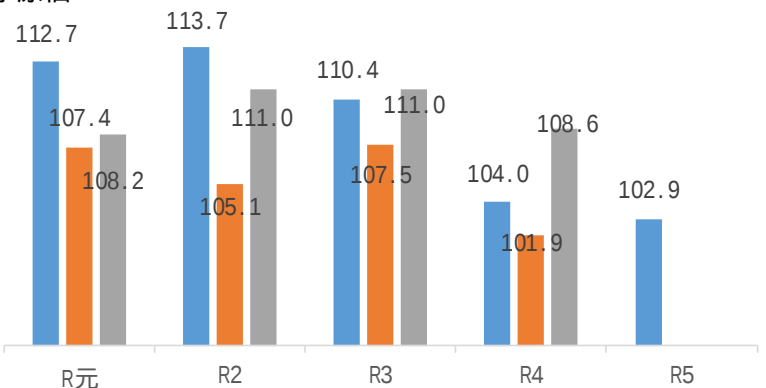
料金回収率

【算式】 $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量} \times \text{給水原価}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】 -

給水に係る費用がどの程度料金により回収されているのかを示すものです。

比率が100%を上回ると、給水費用を料金収入でまかなえていることになります。

令和5年度は、1.1ポイント減少しました。



費用を収入で
まかなえて
いるね。

比率が年々減少しているのが
心配だな。



2 経営資産に関する項目

施設の効率性（稼働状況）

施設の適正規模

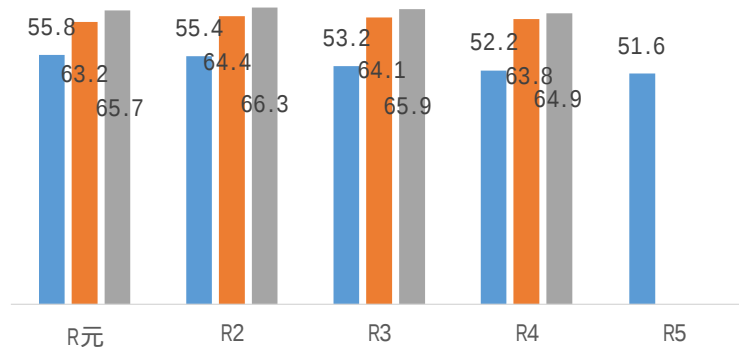
施設利用率

【算式】 $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$ 【単位】 % 【優位性】

施設の配水能力に対する一日の平均配水量の割合を示すものです。

施設の利用状況や適正規模をみるものであり、比率は高いことが望まれます。

令和5年度は、0.6ポイント減少しました。



比率が、他市よりも低く、年々減少しているね。

施設の規模は、水の需要に見合ったものに見直す必要があるよ。



生産性（職員数と事業の状況との関係）

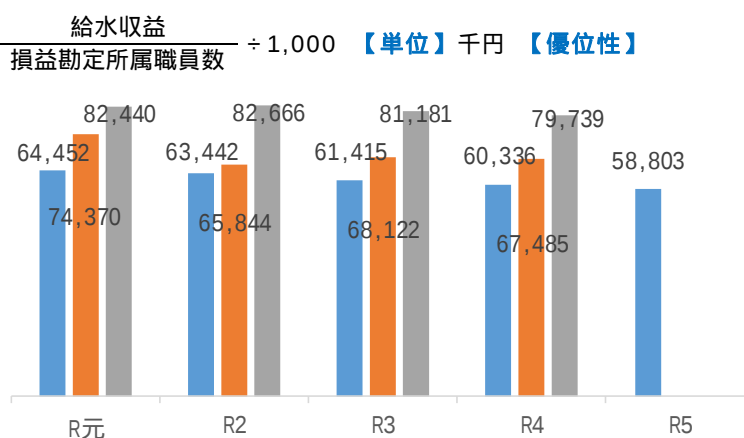
職員一人当たり給水収益

【算式】 $\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1,000$ 【単位】 千円 【優位性】

職員一人当たりの料金収入を示すものです。

職員一人当たり給水収益が高いほど、より少ない人員で効率的な経営ができていくことになります。

令和5年度は、給水収益が1.1%減少したため、153万3千円減少しました。



収益が、他市よりも低く、年々減少しているね。

これまで以上に業務の改善を進め、経営の効率化を図る必要があるよ。

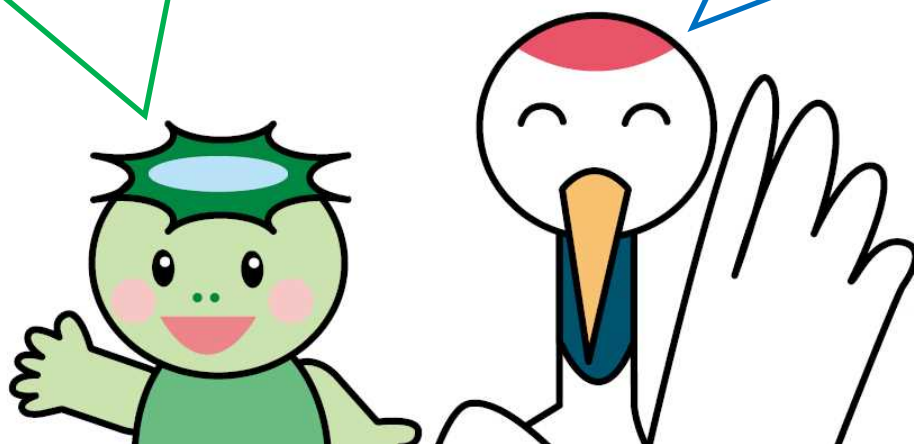


水道事業の詳細については、
水道局のホームページに掲載しているよ。
水道事業を詳しく知りたい方は、
水道局のホームページをみてね。

詳しくは [こちら](#)



皆さんからの
意見をまってるよ。



ご意見・ご提案などをお寄せください

<https://logoform.jp/form/NczP/786259>





令和6年度水道週間 写真展 最優秀賞作品
タイトル「水面」
山口 莉央さん

いわき水みらいレポート 2024

令和6年11月発行 いわき市水道局経営戦略課
〒970-8026 福島県いわき市平字童子町2番地の5
電話 0246-22-9310 / FAX 0246-21-4844